

RESAS

新潟県
十日町市

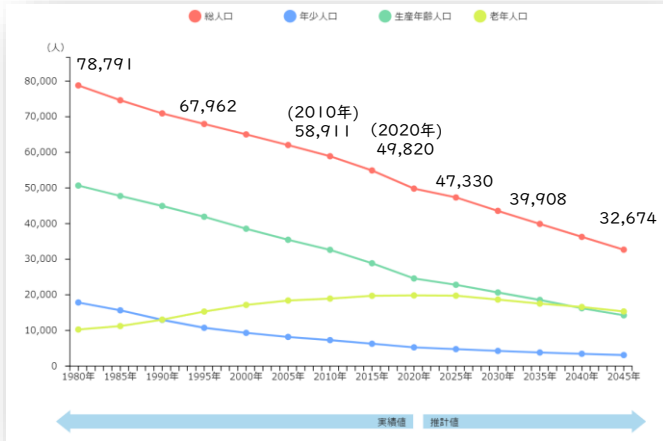
を分析してみよう

<https://resas.go.jp>

RESAS



人口



*人口マップ→人口構成→人口推移

RESAS(地域経済分析システム)とは、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。

RESAS(リーサス)は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供しています。自治体職員の方や、地域の活性化に関心を持つ様々な分野の方によって、効果的な施策の立案・実行・検証のためなどに広く利用されています。

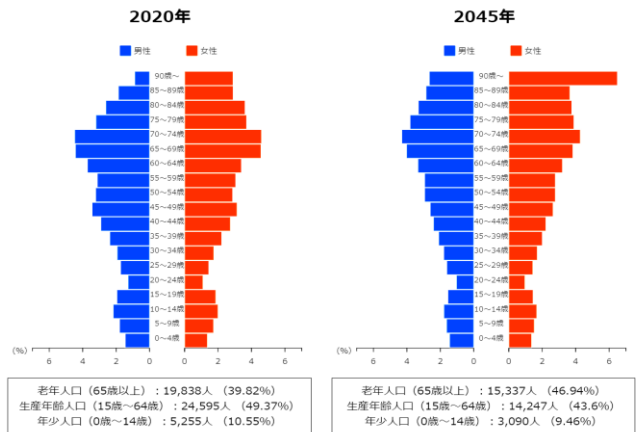
年齢別人口推移

2020年の人口は総人口49,820人。10年前(2010年)の58,911人と比較して15.4%減となっている。将来人口の推移を年齢別にみると、年少人口、生産年齢人口は減少傾向で推移する見込みであり、老年人口は横ばいから緩やかな減少傾向で推移する見込みである。年少人口や生産年齢人口の減少率が高く、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

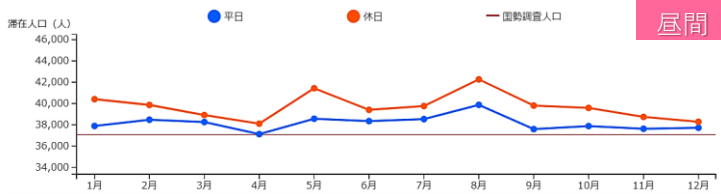
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

人口ピラミッド

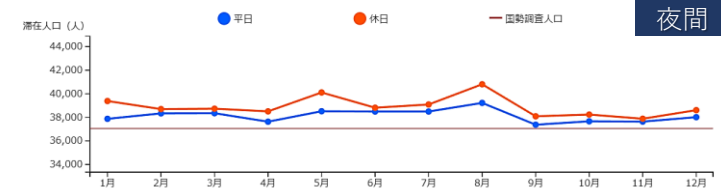
現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2045年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の39.8%から2045年には46.9%まで増加する。また、生産年齢人口は2020年の49.4%から43.6%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



昼間



夜間

*まちづくりマップ→滞在人口率

滞在人口

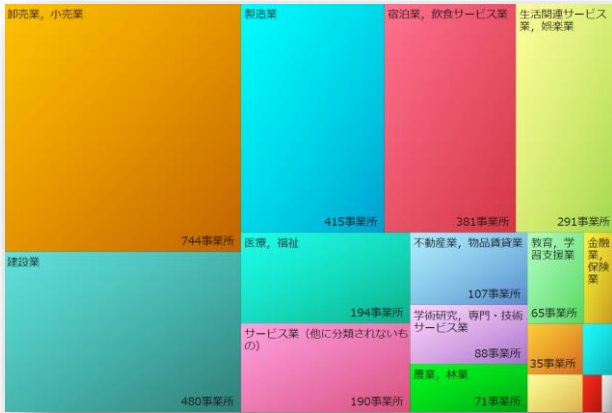
(2022年、上：昼間、下：夜間)

昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。平日の人口をみると、昼間人口と夜間人口に大きな違いがみられないことから、他の市町村への通勤・通学者数(流出人口)と他の市町村からの通勤・通学者数(流入人口)が同程度であることがわかる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータ

産業構造

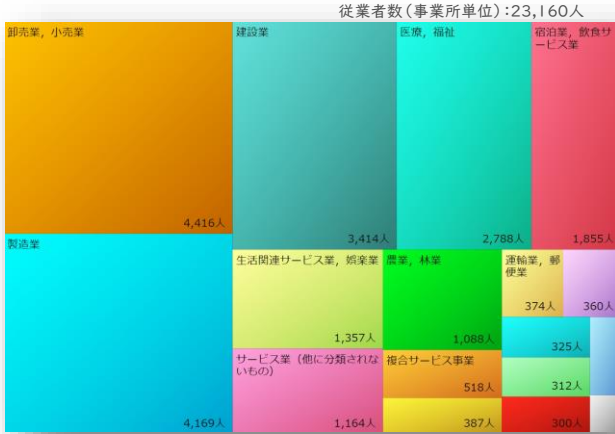
事業所数(事業所単位):3,165事業所



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

事業所数(事業所単位) 大分類 (2016年)

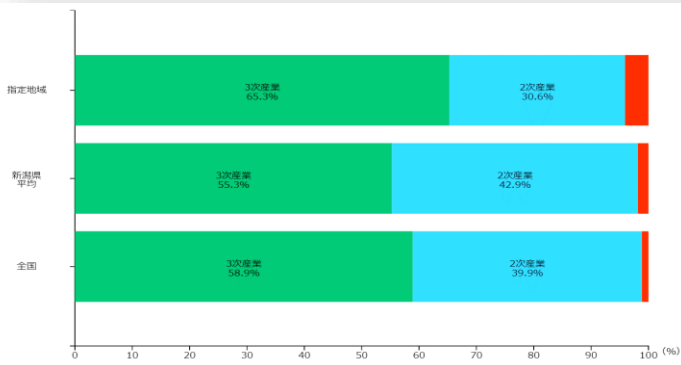
業種ごとの事業所数を面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「卸売業,小売業」の744事業所で、全体の23.5%を占めている。その後「建設業」の480事業所15.2%、「製造業」の415事業所13.1%が続く。



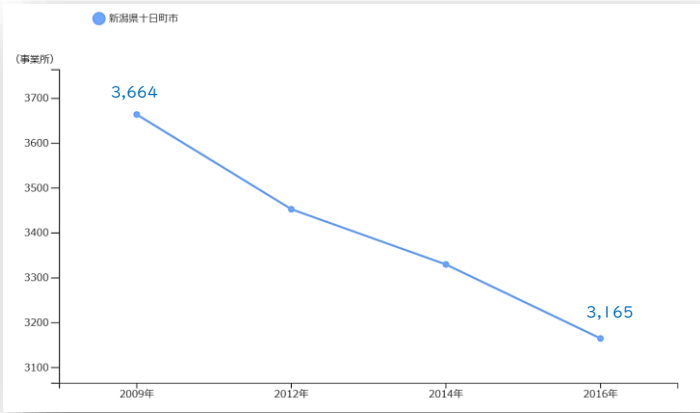
*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

従業者数 (2016年)

業種ごとの従業者数を面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「卸売業,小売業」の4,416人で、全体19.1%を占めている。その後「製造業」の4,169人の18.0%、「建設業」の3,414人の14.7%が続く。



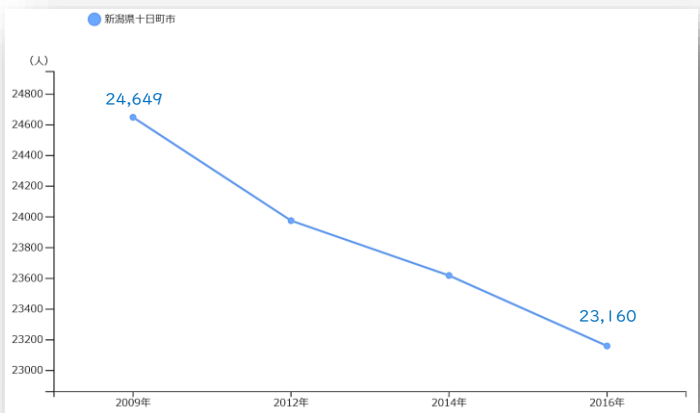
*地域経済循環マップ→生産分析



*産業構造マップ→全産業→事業所数

事業所数の推移 (2016年)

事業所数の推移をみる。2016年は3,165事業所。7年前の2009年と比較すると3,664事業所だったので、13.6%減である。



*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

従業者数の推移 (2016年)

従業者数の推移をみる。2016年は23,160人、7年前の2009年と比較すると24,649人だったので、6.0%減である。

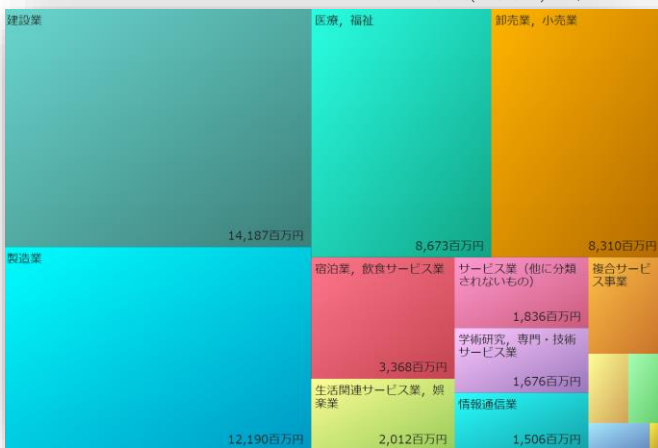
地域内産業の構成割合

十日町市の産業の構成割合を全国および新潟県平均と比較したグラフである。3次産業の割合が65.3%であり、全国の58.9%、新潟県平均55.3%と比べて高い。一方、2次産業の割合は、30.6%と全国の39.9%、新潟県平均42.9%と比べて低い。

- *1次産業・・・農業、林業、漁業など
- *2次産業・・・製造業、建設業、工業など
- *3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業、外食産業・情報通信産業など

産業構造

付加価値額(企業単位):59,219百万円



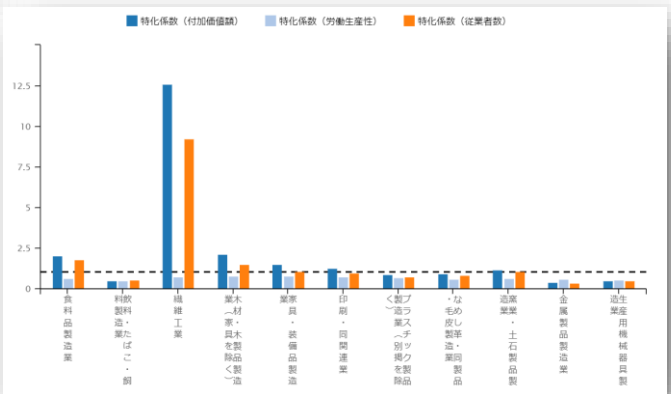
*産業構造マップ→全産業→全産業の構造(付加価値額)

稼ぐ力分析

十日町市内の全産業の構造をみると、「建設業」がもっとも付加価値額の高い産業であり、全体の24.0%を占めている。その後、「製造業」20.1%、「医療,福祉」14.6%が続く。

製造業 (産業別特化係数 2016年)

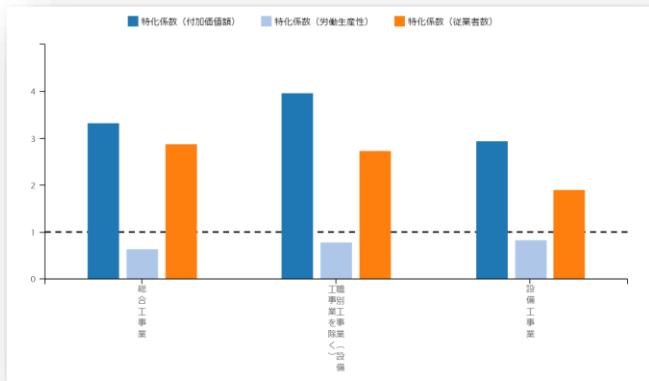
十日町市内の産業別特化係数(製造業)をみると、繊維工業は、特化係数(付加価値額)が大幅に1を超えており、全国の中でも有数の特徴的な産業であることがわかる。特化係数(従業者数)も大幅に1を超えており、全国に比べて労働力が集積されている産業と言える。食料品製造業も特化係数(付加価値額)・(従業者数)がともに1を超えており、地域内で稼ぐ力を持つ特徴的な産業であり、全国に比べて労働力が集積されている産業と言える。



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造(製造業)

建設業 (産業別特化係数 2016年)

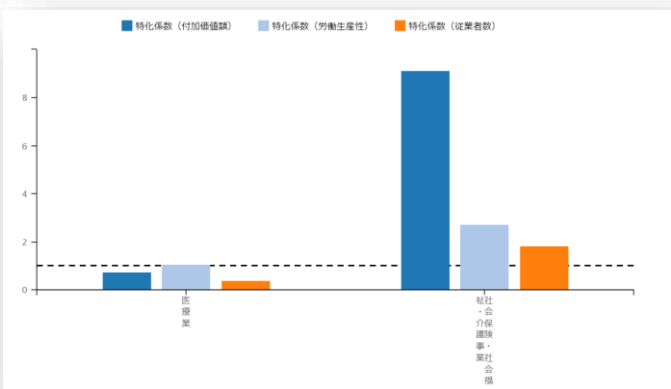
十日町市内の産業別特化係数(建設業)をみると、総合工事業、職別工事業(設備工事業を除く)、設備工事業すべて、特化係数(付加価値額)・(従業者数)が1を超えており、地域内で稼ぐ力を持つ特徴的な産業であり、全国に比べて労働力が集積されている産業と言える。



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造(建設業)

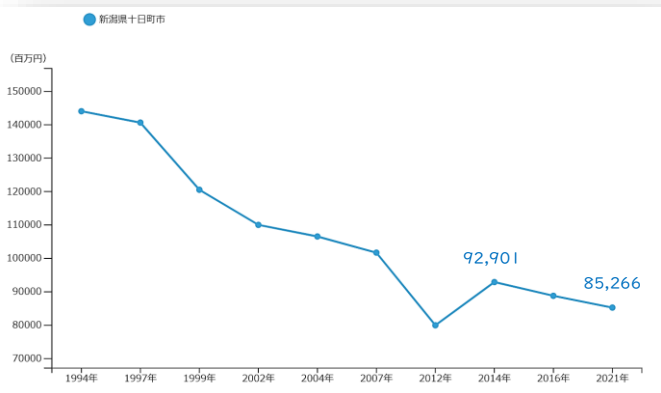
医療,福祉 (産業別特化係数 2016年)

十日町市内の産業別特化係数(医療,福祉)をみると、社会保険・社会福祉・介護事業の特化係数(付加価値額)・(労働生産性)・(従業者数)すべてが1を超えており、全国に比べて地域内で稼ぐ力を持つ特徴的な産業であり、生産性が高く、労働力が集積されている産業と言える。



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造(医療,福祉)

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

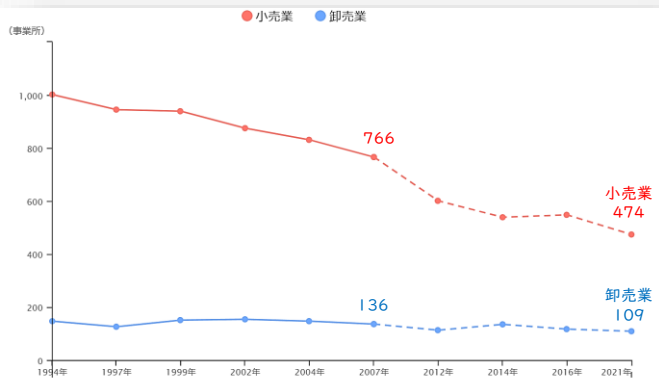
事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業474事業所、卸売業109事業所である。2007年と比較すると、小売業は38.1%減、卸売業は19.9%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

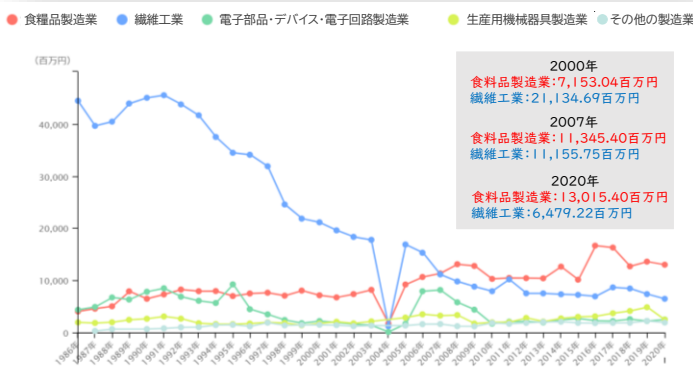
年間商品販売額の推移 (2021年)

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は852億円である。7年前の2014年と比較すると929億円なので、8.3%減となっている。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

製造業



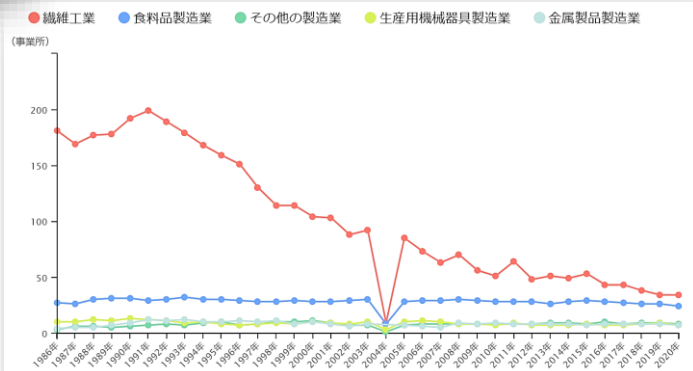
*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

事業所数 (主要製造業) の推移 (2020年)

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。十日町市内では、①繊維工業、②食品製造業が多く、その他の製造業、生産用機械器具製造業、金属製品製造業の順に続く。

製造品出荷額等 (実数) の推移 (2020年)

十日町市内での主要製造業の出荷額等の実数推移を示したグラフである。繊維工業が食品製造業より出荷額が多かったが、2007年以降、食品製造業が繊維工業より多くなっている。2000年と2020年で比較すると、繊維工業は70%減、一方で、食品製造業は82%増となっている。



*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

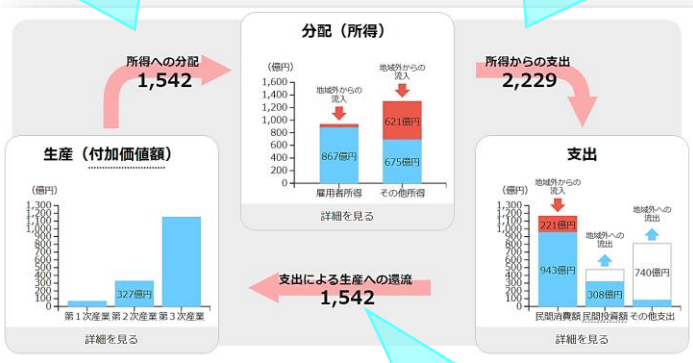
地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

①十日町市の企業は合計1,542億円の付加価値を生み出している。

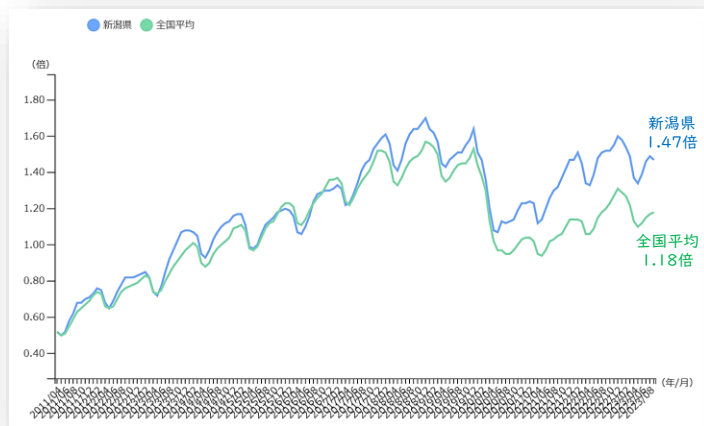
②付加価値のうち、支出に回されるのは、2,229億円。



*地域経済循環マップ→地域経済循環図

③市内で支出に使われた金額は1,542億円。地域内の所得2,229億円より少なく、稼ぎが市外へ流出している。

雇用 (新潟県)



*産業構造マップ→雇用→有効求人倍率

有効求人倍率 (2023年9月)

新潟県の有効求人倍率を全国平均と比較したグラフである。2023年9月の新潟県は約1.47倍であり、全国平均の1.18倍より、高い水準となっている。

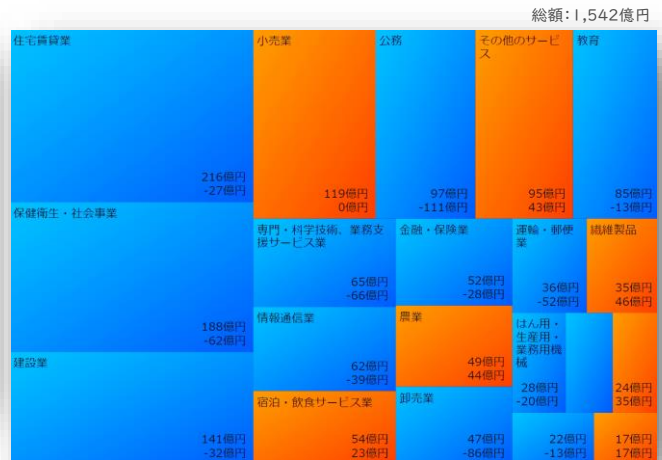
1倍以上の指標のため、企業の採用活動が活発化しているといえる。

新潟県の有効求人倍率は、全国順位5位である。

生産分析 (2018年)

左図の「生産 (付加価値額)」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が高いのは「住宅賃貸業」「保健衛生・社会事業」「建設業」である。

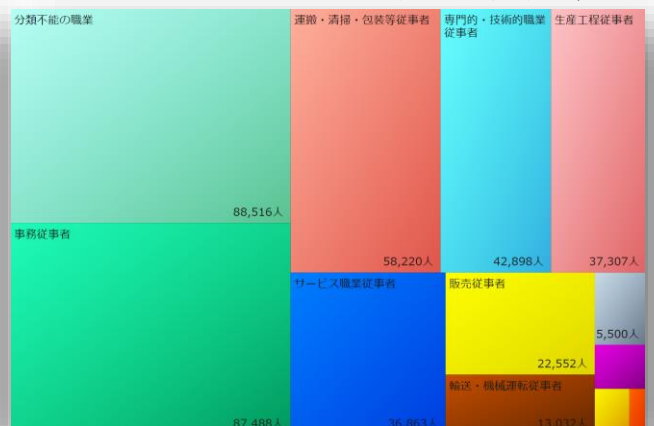
なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業 (赤色) と地域外から必要としているものを調達している産業 (青色) を表している。



上図以外の付加価値額の合算: 87億円

*地域経済循環マップ→生産分析

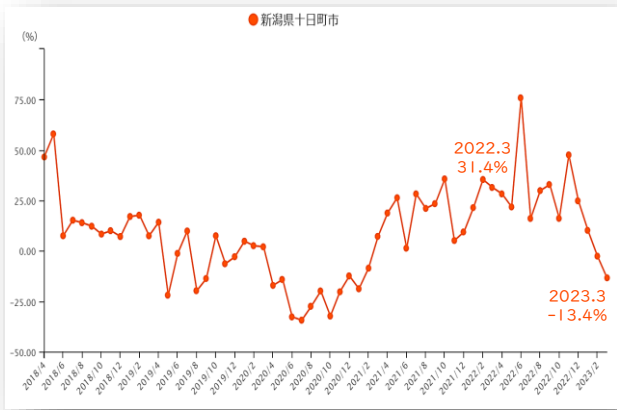
有効求職者数 (総数): 399,069人



*産業構造マップ→雇用→求人・求職者構造分析

有効求職者数 (総数) (2022年)

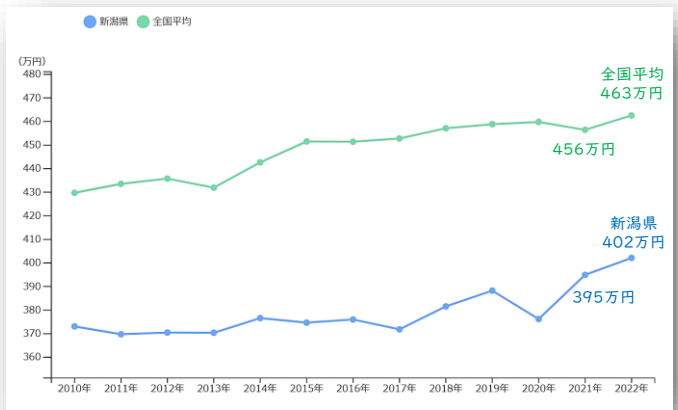
業種ごとの有効求職者数を面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「分類不能の職業」の88,516人で、全体22.2%を占めている。その後「事務従事者」の87,488人の21.9%、「運輸・清掃・包装等従事者」の58,220人の14.6%が続く。



*産業構造マップ→雇用→求人情報の比較

求人情報数の推移 (前年同月比)

十日町市の求人情報数の推移をみる。2022年3月は前年同月比31.4%であったが、2023年3月は前年同月比で、-13.4%となっている。



*産業構造マップ→全産業→一人当たり賃金

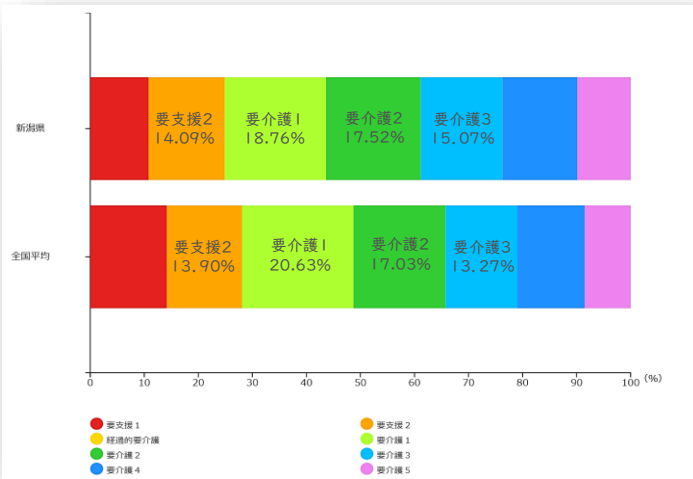
一人当たり賃金 (2022年)

新潟県の一人当たりの賃金を全国平均と比較したグラフである。2021年の新潟県は395万円であり、全国平均の456万円と比べて低い。

2022年の新潟県は402万円、全国平均は463万円となり、ともに増加しているが、全国平均と比べて低い水準となっている。

新潟県の一人当たり賃金は、全国順位32位である。

医療・福祉 (新潟県)



*医療・福祉マップ→介護需給

*65歳以上人口10万人あたり

要介護 (要支援) 認定者数の構成 (2020年)

新潟県の要介護 (要支援) 認定者数を種類別で示したグラフである。

新潟県で最も多いのは「要介護1」の18.8%で、全国平均の20.6%よりも低い。

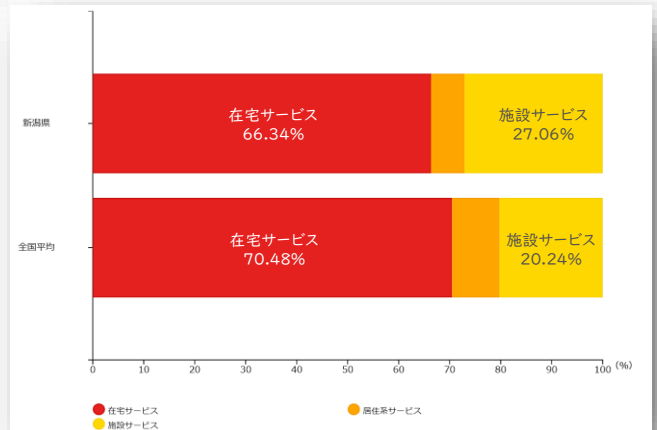
その後「要介護2」の17.5%、「要介護3」の15.1%が続く。

*65歳以上人口10万人あたり

施設・居住系・在宅サービス受給者数の構成 (2021年)

新潟県の施設・居住系・在宅サービス受給者の構成割合を全国平均と比較したグラフである。

新潟県の在宅サービスの割合が66.3%であり、全国平均の70.5%と比較して低い。一方、施設サービスの割合は、27.1%と全国平均の20.2%に比べて高い。

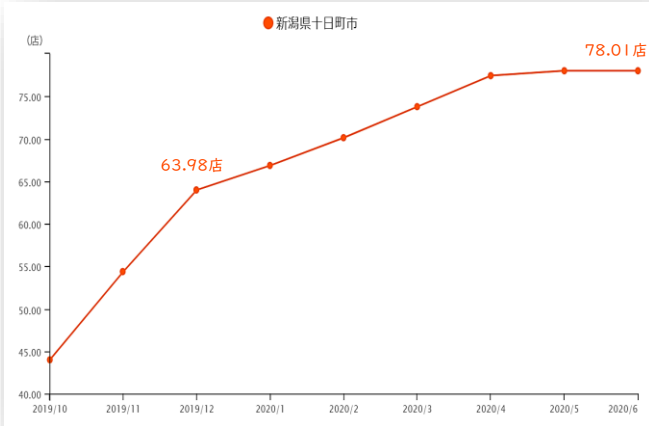


*医療・福祉マップ→介護需要

キャッシュレス

人口1万人当たり加盟店数の推移 (2019年10月～2020年6月)

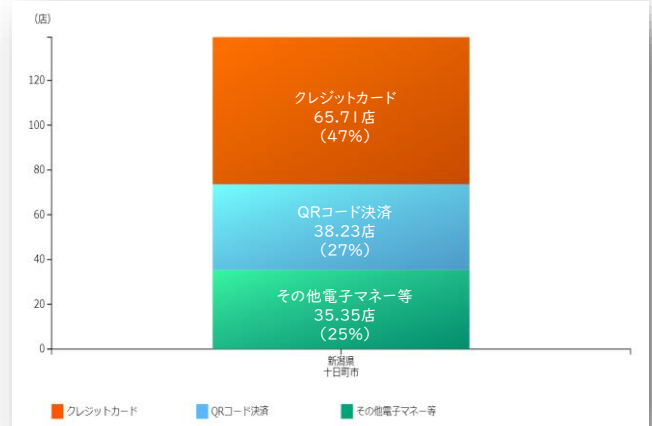
人口1万人当たりのキャッシュレス決済加盟店数の推移を示したグラフである。
2020年6月の店舗数は78.01店舗である。半年前の2019年12月と比較すると63.98店舗なので、21.9%増である。



*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

キャッシュレス手段別区分 (2020年6月)

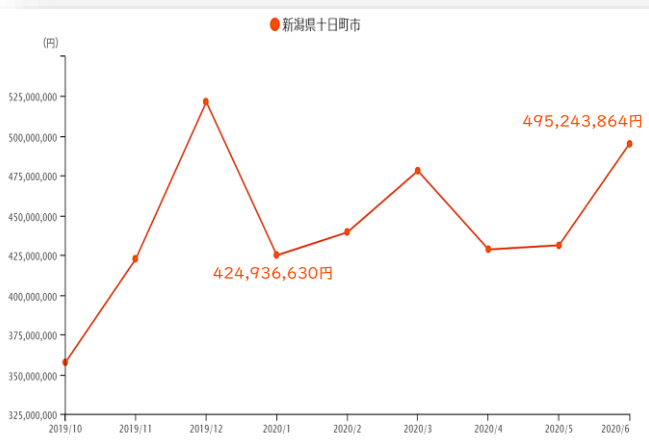
(人口1万人当たり加盟店数の)キャッシュレス手段別区分を積み上げたグラフである。
「クレジットカード」が65.7店と最も多く、続いて「QRコード決済」が38.2店、「その他電子マネー等」は35.4店となっている。



*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

決済金額の推移 (2019年10月～2020年6月)

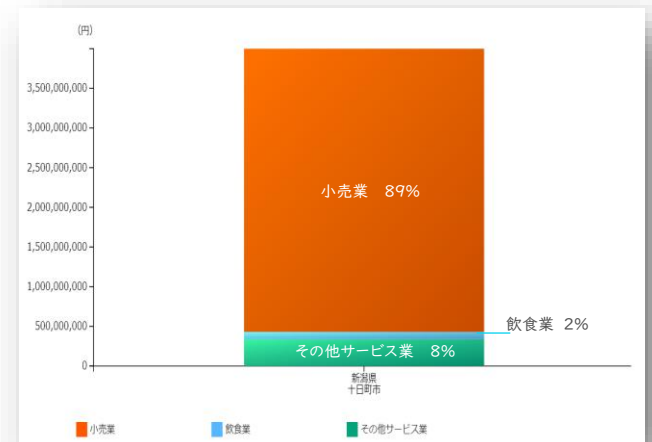
キャッシュレス決済金額の推移を示したグラフである。
2020年6月の決済金額は4億9524万3864円である。同年1月と比較すると4億2493万6630円なので、10.4%増である。



*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)

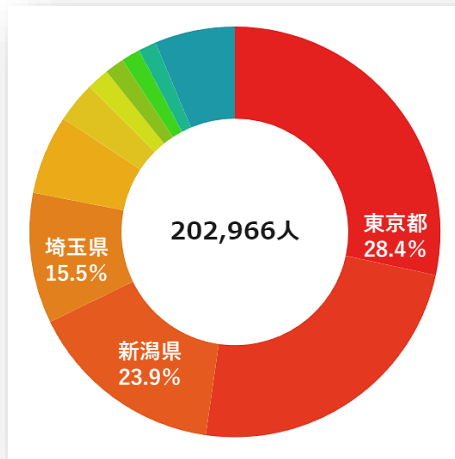
業種大分類別区分 (2019年10月～2020年6月)

決済金額を業種大分類別区分に積み上げたグラフである。
「小売業」が89%と最も多く、続いて「その他サービス業」が8%、「飲食業」は2%となっている。

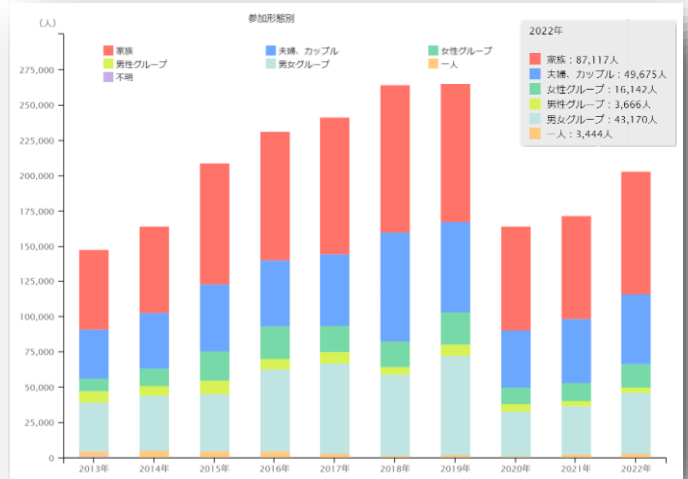


*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)

観光



*観光マップ→From-to分析(宿泊者)



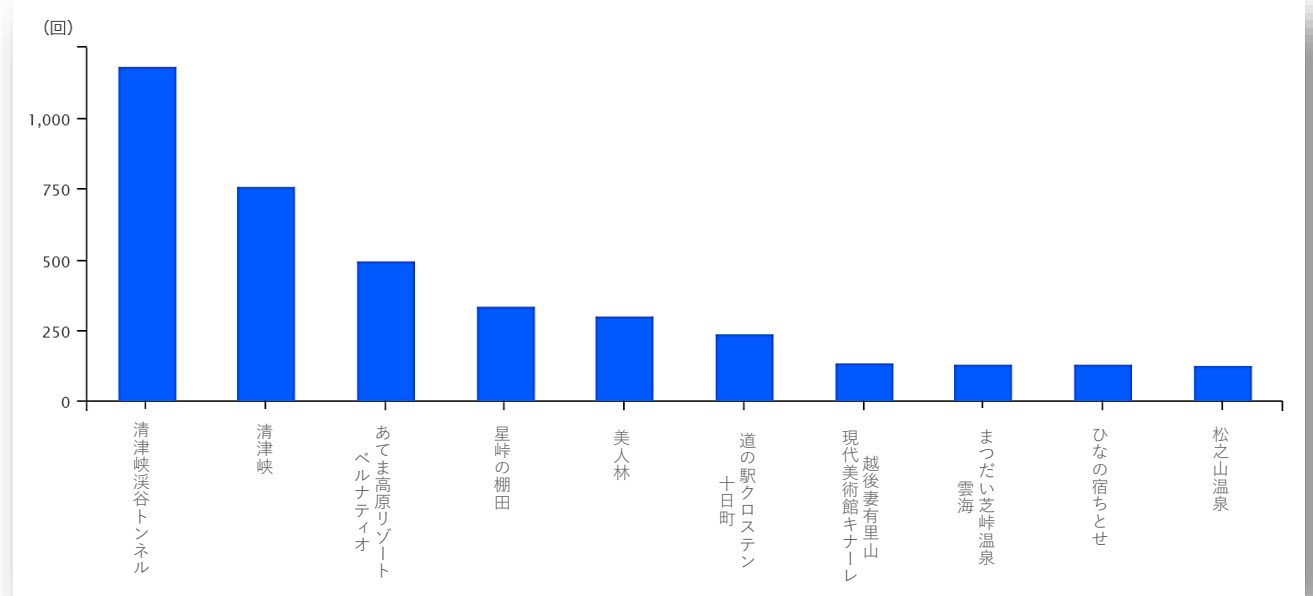
*観光マップ→From-to分析(宿泊者)

From-to分析(宿泊者) (2022年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合を示したグラフである。東京都が28.4%と最も多く、新潟県23.9%、埼玉県15.5%が続く。

From-to分析(宿泊者) (2022年)

十日町での延べ宿泊者数(総数)の推移(参加形態別)を示したグラフである。家族、夫婦・カップル、男女グループの順に多い。



*観光マップ→目的地分析

目的地検索ランキング

(2022年 年間・休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「清津峡渓谷トンネル」「清津峡」「あてま高原リゾートペルナティオ」の検索回数が多い。

発行:十日町商工会議所
 〒948-0088 新潟県十日町市駅通り17番地
 TEL: 025-757-5111 FAX: 025-752-6044
 URL: <https://www.tokamachi-cci.or.jp/>

